

アリはどうやってすを作る？ ～大きいアリと小さいアリではちがうのか～

小国町立小国小学校 3年 さか田 和陽

1 調べた理由

アリのすきな物調べをしたとき、大きなアリも小さなアリも地面にすあなを開けていた。地面をどうやってほってすを作るのか見てみたいと思った。また、大きなアリと小さなアリで、すの作り方がちがうのか知りたいと思ったので、調べてみることにした。

2 調べた方法とよそう

方法 (1) かんさつキットのじゅんぴをし、かんさつ場所を決める。(2) どのアリで調べるのかを決めて、つかまえる。(3) かんさつキットの中に集めたアリを入れる。(4) アリがすを作るようすを大きなアリ と小さいアリ をくらべながらかんさつし、記ろくする。

予想 (1) すを作らない。 女王アリがいなくて、はたらきアリだけだから。(2) すあなを下にほり進む。 どちらも地面にすをほるアリだから。(3) トンネルのと中に部屋を作る 食べ物やたまごを入れる部屋を作るだろう。(4) 大きいアリ の方があなほりに時間がかかる。 体が大きいから、太いあなをほるだろう。

3 かんさつのけっか

すあなの記ろく		アリのすあなの作り方	
	前	後ろ	
大きいアリ 2			大きいアリ② ・7/31 アリをキットの中に入れたら、それぞれにウロウロしていたけど、すぐ集まって、しゃくしゃくを合わせて話しているみたいだった。 ・②のありはうごきまわっては集合する ・すあなが太くて、カスのりょうも多い ・横あなをどんどんほっていく。 ・すあながつながって、めいろうのようになっていく。 ・③より長生きで、元気に動き回る
小さいアリ 3			小さいアリ③ ・アリをキットの中に入れたら、それぞれにすつとウロウロしていた。 ・②より広いはんに動く。 ・1つのあなには1～2ひきずつ入ってあなをほる。 ・②より横あなが多く、えだがのじろあなをほった。 ・8/23 アリがしにじまめた。 ・わりはして開けたあなからはり始めた。 ・横あなの出口を作るとまた下にはり進んだ。 ・トンネルの中が太くなって、部屋みたいになると、またそこからトンネルがのびる。 ・昼間でもみんなじっと動かなくなる時がある。 ・夜中はすの外でじっとしていた。

4 かんさつのまとめ・感そう

(1) 女王アリがいなくて、はたらきアリだけでも、すあなを作った。(2) すあなは、ただ下にほり進むのではなく、横や上にほり進み出口を作った。(3) トンネルと部屋をべつべつに作るのではなく、トンネルのと中が太くなって部屋のような所を作った。(4) 大きいアリの方が、すあなを早くほった。(5) アリの動きはずっとかわらないけど、作り始めて20日間は、みてわかるくらい、すあながのびていった。(6) 小さいアリ は、バラバラに動きまわり、べつべつにすあなに入ってあなをほった。(7) 大きいアリは、集まったり、すれちがうとき、しゃくしゃくを合わせて、話をしているように見えた。(8) ありの数をもっとふやして、はたらきアリ以外のアリもいると、すあなのほり方がかわるのか調べたいと思った。(9) 小さいアリ は行列を作るアリなのに、すあなを作るときはべつべつに作るのがふしぎだった。